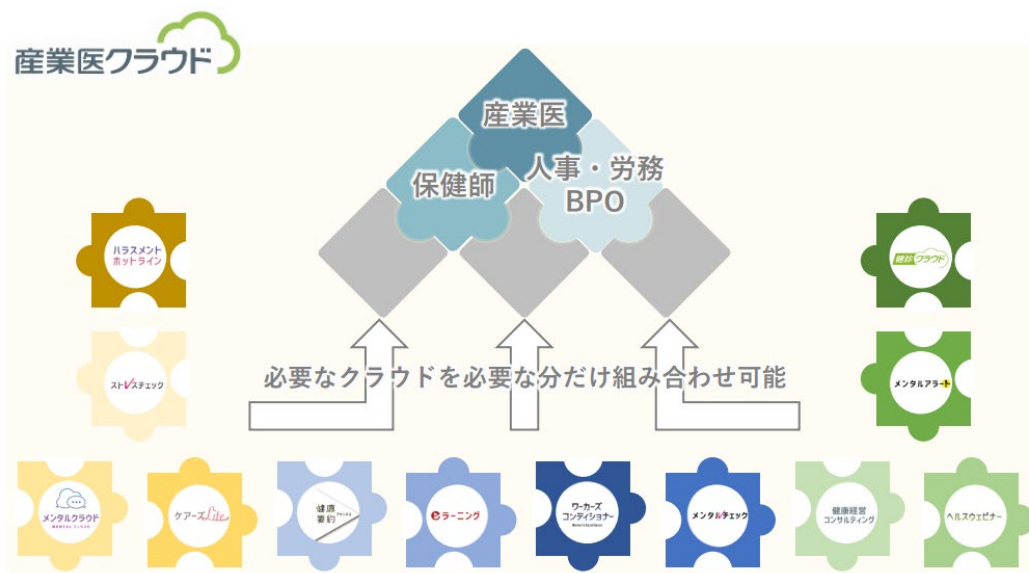


メンタルヘルステクノロジーズ、 神戸市教育委員会が推進する “教職員のメンタルヘルス対策”の支援決定 ～「ICTを活用した包括的メンタルヘルス対策」を通じて 教職員のメンタルヘルスを守ることをめざす～

産業医及び保健師等による役務提供サービスと従業員の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービスを提供する株式会社メンタルヘルステクノロジーズ（所在地：東京都港区、代表取締役社長：刀禰真之介、証券コード：9218、<https://mh-tec.co.jp/>、以下メンタルヘルステクノロジーズ）の100%子会社である株式会社Avenirは、神戸市教育委員会が推進する“教職員のメンタルヘルス対策”を目指し、2023年7月18日（火）より始動した「ICTを活用した包括的メンタルヘルス対策」の支援が決定したことをお知らせします。

支援にあたり、「教職員のための健康管理室」というコンセプトのもと、教職員のヘルスリテラシーの向上を目的とした教育研修の実施、教職員が産業医・保健師等の専門職にオンラインで相談が出来る仕組の構築、休職者が心身共に安定し意欲高く復職することが出来、職場も安心して復職される方を迎え入れることが出来る状況を目指した復職プログラムの構築及び運用を株式会社Avenirが支援いたします。本取組みは、神戸市教育委員会において、精神疾患による休職者数の増加の課題などを受け、メンタルヘルステクノロジーズ/Avenirの産業医クラウド（産業医及び保健師等による役務提供サービス及び労働者の心身の健康管理に関する各種クラウドサービスの導入）などを通して解決をめざすべく支援するものです。



<本件に関するお問合せ先>

株式会社メンタルヘルステクノロジーズ 広報 PR 担当（ベンチャー広報）陳之内
TEL : 080-6504-7774 Mail : jinnouchi@v-pr.net

■「ICT を活用した包括的メンタルヘルス対策」内容

支援内容：神戸市教育委員会と、メンタルヘルステクノロジーズが連携しモデル校として選定された全 15 校（小学校 10 校・中学校 5 校）を対象として教職員のメンタルヘルス対策に取り組む。

【具体的な取り組み内容】

1. 産業保健専門職によるセルフケア研修の実施
2. 産業医及びコンサルタントによる管理職向け研修の実施
3. ICT を活用した相談窓口の体制整備
4. 復職プログラムの構築及び休職者の復職フォローの実施
5. 全教員向けアンケート調査による休職者の傾向や休職要因の分析
6. メンタルヘルス対策事業における関係者会議への参加

■メンタルヘルステクノロジーズについて

『ウェルビーイングのスタンダードを創る』をビジョンとし、クラウドの活用と企業における最適なメンタルヘルスケア体制の構築によって「心身の健康問題を考えることが身近になる世界」を実現することを目指す企業です。産業医及び保健師等による役務提供サービスと従業員の心身の健康管理に関する各種クラウド型サービス「ELPIS（エルピス）」をパッケージ化した「産業医クラウド」を提供しています。

■会社概要

企業名：株式会社メンタルヘルステクノロジーズ

代表：代表取締役社長 刀禰真之介

設立：2011年3月

所在地：東京都港区赤坂 3-16-11 東海赤坂ビル 4 階

HP：<https://mh-tec.co.jp/>

事業内容：メンタルヘルスソリューション事業（親会社、子会社）

デジタルマーケティング事業（親会社、子会社）

メディカルキャリア支援事業（子会社）

連結子会社：株式会社 Avenir（アヴェニール）

株式会社ヘルスケア DX（ディーエックス）

株式会社明照会労働衛生コンサルタント事務所